

第1学年国語科 学習指導案

平成30年10月26日(金)

指導者 安部 早耶香

場所 1年教室

1. 単元名 とっておきのおはなしをしょうかいしよう

2. 教材名 サラダでげんき

3. 単元の目標

○いろいろな本を読んで、自分だったらどうするかを紹介しようとする。

(国語への関心・意欲・態度)

○動物たちが出てきた順序やしたことにとらえ、それぞれの動物とりっちゃんの様子を想像しながら読むことができる。

(読むこと)

○「誰が」「どうした」のかをとらえて、文章を読むことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

4. 言語活動とその特徴

本単元では、物語を読んで、自分が登場人物だったらどうするか考え、その理由をおうちの人に紹介する「どくしょゆうびん」の言語活動を設定した。自分だったらどうするか考えるためには、登場する動物たちがどんなことをしたのか、その理由としてどんなことが書かれているかを読み取る力が必要となり、本単元の重点指導事項「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと」の達成に適した言語活動である。

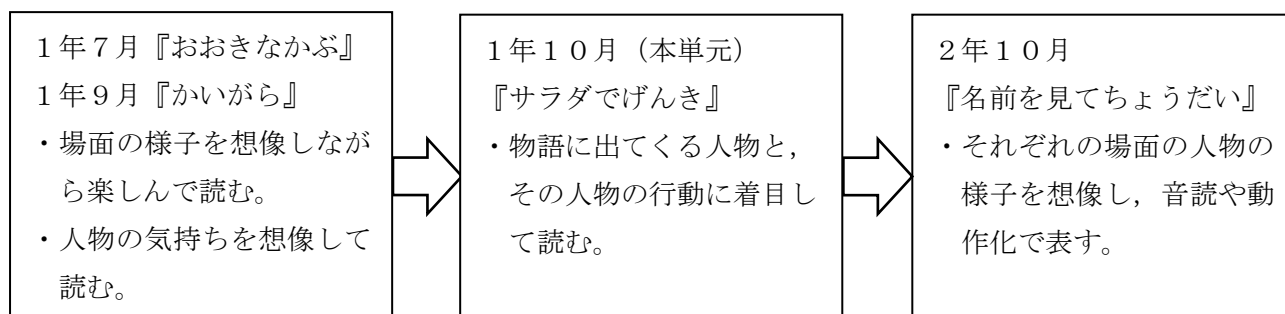
教材文の読み取りにおいて身につけた、誰がどんなことをしたかを考えながら読む力の活用を図るために、読み広げをした他の図書でも同様の言語活動を行う。

5. 基盤

(1) 教材について

本教材は、病気のお母さんのためにサラダを作ろうとするりっちゃんの前に、動物たちが次々と出てきて、サラダに入れる材料とその効果を教えるという楽しいお話である。動物たちの登場によって場面が分かれ、同じようなやりとりが繰り返される。動物たちの登場の仕方(行動)、サラダに入れるとよいものとその理由(会話)が工夫されており、それぞれの動物ならではの個性が表れている。人物の行動や会話に着目して、場面をとらえて想像しながら読むのに適した教材であると考えられる。既習単元「おおきなかぶ」と同様、登場人物が次々とやってきて、みんなで一つのことを成し遂げるお話の展開が、この作品の魅力である。

《学習の系統》



(2) 児童について

<個人情報保護のため省略>

(3) 指導について

【単元全体を通して】

本単元では、次々に登場する人物をとらえ、行動や会話など人物がしたことに着目して物語を読むことをねらいとしている。

第一次では、物語のすきなところやおもしろかったところについて初発の感想を書かせる。その感想をもとに、全体で確かめたいことを焦点化し、学習課題を設定したい。また、自分が物語の登場人物だったら何をサラダに入れるか考え、その理由をおうちの人に「どくしょゆうびん」で伝えるという見通しをもたせる。そのために、教材文とは違うが、児童のよく知っているお話でモデルを示す。さらに、同じパターンを繰り返しながら、次々と人物が登場し出来事が起こっていく本を学級に置き、並行読書をさせることで物語を読むことについての興味・関心を持たせたい。

次に第二次では、「登場人物がどんな様子で来たのか」「何を教えてくれたのか」「どうしてその材料を教えたのか」という観点ごとに課題を設定し、物語全体を対象として読み取りを行う。

全文シートとワークシートを活用することで、「誰が」「どうしたのか」を整理していく。また、学習のまとめとして、りっちゃんの気持ちを想像し書く活動を行う。動物たちのさまざまな行動から、りっちゃんはどう思ったのか書けるようにしていきたい。第二次の終わりには、自分だったらどうするかを考え、その理由を「どくしょゆうびん」に書く時間を設定した。「どくしょゆうびん」を書くことにより、「だれが」「どうしたのか」をとらえ、読みが深まったか見取っていききたい。

そして、第三次では、並行読書をした図書の中から、おうちの人に一番教えてあげたいお話を選んで、「誰が（何が）」「どうした（どうなった）」を自分自身で読み取り、「自分だったらどうするか」を「どくしょゆうびん」に書く活動を行うことで、習得した力の活用を図りたい。

【本時の指導について】

前時では、動物たちが教えてくれた材料を食べたらどうなるのか分かる叙述に線を引き、ワークシートに整理している。そこで本時では、動物たちがどうしてそれらの材料を教えてくれたのか考え、りっちゃんはどう思ったのか想像することを学習のめあてとする。

まず、どうしてそれらの材料を教えてくれたのか、動物の気持ちを読み取る。動物たちが教えてくれた材料は、動物たちの好きなものであったり、動物たちの得意なことにつながったりしているという関係性に気づかせたい。しかし、シロクマが教えてくれた「こんぶ」や、アフリカゾウの入れた「油と塩と酢」はその動物の好きなものとは言えない。このことに疑問をもたせ、何のためにやってきたのか、役割について考えさせる。そして、動物たちはそれぞれ、お母さんが元気になるように考えて材料を教えてくれたことを、話合いを通してとらえさせたい。

本時のまとめとして、りっちゃんの気持ちを想像して書く活動を行う。動物たちがどうしてそれらの材料を教えたのか考えたことを生かして、りっちゃんの気持ちを想像する。「お母さんに元気になってほしい」「お母さんのことを考えて」という気持ちが表れるようにしていきたい。

6. 研究主題との関わり

本校では、「生き生きと学び、思考を作り上げる児童の育成～読む力が高まる国語科学習指導の工夫～」を主題に研究を進めている。本単元では、以下の点に留意して指導計画を作成し、学習の展開を工夫した。

研究仮説①

児童が目的意識をもって（教材文の）読解に向かうように単元構成を工夫すれば、主体的に読みを深める児童が育つであろう。

本単元では、登場人物（だれ）が何をしたのか読み取り、自分が登場人物だったらどうするかを考え、その理由をおうちの人に伝える言語活動を行う。その言語活動のイメージを明確にするために、単元の導入において、「どくしょゆうびん」のモデルを提示する。

また、第三次では、並行読書した図書を用いて同様の言語活動を行う。学習計画表を作成・提示して、単元を貫く言語活動を視覚的にも分かりやすく伝えることは、教材文の読解を他の物語の読

解にも活かしたいという目的意識の醸成につながると考える。

研究仮説②

対話を活性化させるための課題設定や手立てを工夫すれば、その対話を通して読みを深める児童が育つであろう。

第二次では、学び合いを活性化させるために、動物を限定して読み取るのではなく、「どんな様子で来たのか」「何を教えてくれたのか」「どうしてその材料を教えたのか」という観点ごとに課題を設定し、物語全体を対象とした読み取りを行う。叙述の共通点や違いを考えながら読んでいくと、自分だけでは気づかない多様な考えが表れ、学びを深めていけると考える。

互いの考えや、その考えの根拠となる叙述について視覚的にとらえながら話し合うことができるように、全文シートとそれに合わせた形の拡大掲示物の活用を図る。

7. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・誰がどんなことをしたかを考えながら読んで、自分だったらどうするかを紹介しようとしている。	・動物たちが出てきた順序やしたことをとらえ、それぞれの動物とりっちゃんの様子を想像して読んでいる。	・「誰が」「どうした」のかをとらえて、文章を読んでいる。

8. 単元の指導計画（総 12時間 本時 7時間目）

次	時	学習活動	評価規準
一	学習の見通しを立てる。		
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の書いた「どくしょゆうびん」の紹介を聞き、自分だったらどうするか考え、その理由をおうちの人に紹介するという学習の見通しを持つ。 ・パネルシアターによる読み聞かせを聞いて、好きなところやおもしろかったことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動の見通しを持ち、「どくしょゆうびん」を書くことに興味を持っている。 <p>【関心・意欲・態度】</p>
二	りっちゃんや動物たちの行動に着目して、りっちゃんがどんな気持ちでサラダを作ったのか想像しながら読む。		
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「順番ゲーム」をしながら、誰がどんな順番で出てきたか確かめる。 ・登場人物に着目して場面分けをする。 ・登場人物と、サラダに入れるものを整理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「誰が」「どうした」のかをとらえて、文章を読んでいる。 <p>【言語についての知識・理解・技能】</p>

	3	<ul style="list-style-type: none"> ・(P7の挿絵から)りっちゃんがサラダを作ることになった場面の様子を読み取る。 ・りっちゃんの気持ちを想像し、りっちゃんカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・りっちゃんが考えたことやしたことを順に読み取っている。 【読む能力】
	4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・動物たちがどんな様子で来たのか分かる叙述に線を引き、ワークシートに整理する。 ・動物たちが来るときの様子をもとに動物たちの気持ちを考える。 ・動物たちが来てくれたときのりっちゃんの気持ちを想像し、りっちゃんカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物たちの登場の仕方から、りっちゃんの気持ちを想像しながら読んでいる。 【読む能力】
	6 7 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ・教えてくれた材料を食べたらどうなるのかが分かる叙述に線を引き、ワークシートに整理する。 ・どうしてそれらの材料を教えてくれたのか考える。 ・動物たちが材料を教えてくれたときのりっちゃんの気持ちを想像し、りっちゃんカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物たちが教えてくれたことを読み取り、りっちゃんの気持ちを想像しながら読んでいる。 【読む能力】
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・サラダの名前を考える。 ・食べているお母さんを見て、りっちゃんはどうな気持ちになったのか想像し、りっちゃんカードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来上がったサラダを食べているお母さんを見たときのりっちゃんの気持ちを想像しながら読んでいる。 【読む能力】
	9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だったらりっちゃんに何をすすめるか考え、その理由を「どくしょゆうびん」に書いて、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習を振り返り、自分がりっちゃんに教えたいものを考え、その理由を「どくしょゆうびん」に書き、紹介している。 【読む能力】
三	並行読書をした本から自分だったらどうするかを考え、「どくしょゆうびん」で紹介する。		
	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・本を選んで、だれが何をしてお話かが分かるようにワークシートに整理する。 ・自分が登場人物だったらどうするか考え、その理由を「どくしょゆうびん」に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が登場人物だったらどうするか考え、その理由を「どくしょゆうびん」に書いて進んで紹介しようとしている。 【関心・意欲・態度】

9. 本時の学習

(1) ねらい

動物たちが教えてくれたことにどんな共通点があるか考えて、りっちゃんはどう思ったのか想像しながら読むことができる。

(読むこと)

(2) 展開

時	学習活動	教師の支援 (○) 評価 (☆)
3	1. 前時の学習を振り返る。	○本時の見通しを持たせるために、掲示物やワークシートから、それぞれの動物が教えてくれた材料と、それを食べるとどうなるかということを確認する。
3	2. 本時のめあてを確認する。	
	どうぶつたちにおしえてもらってサラダをつくった、りっちゃんのきもちをそうぞうしよう。	
7	3. 動物たちがどうしてそれらの材料を教えたのか考える。 ・自分の好きなものだから ・お母さんに元気になってほしいから ・自分みたいに元気になってほしいから	○シロクマは「こんぶ」が好きなのか疑問を持たせ、近くの海で採れた元気になる材料を教えてくれたことに気づかせる。 ○動物たちがお母さんのことを考えて、元気になる材料を教えてくれたことをおさえる。
1 5	4. アフリカぞうは、何のためにやってきたのか叙述をもとに考える。 【ひとり学び】 アフリカぞうが何のためにやってきたのか分かる叙述にサイドラインを引く。 【ペア学び】【みんな学び】 どの叙述に着目したのか伝え合うことを通して、アフリカぞうの役割をとらえる。	○全員が考えを持つために、ペアで考えた後、全体で話し合う。 ○アフリカぞうは、味付けをしたり混ぜたりすることで、おいしいサラダを仕上げたことに気づかせる。 ○読み取ったことが視覚的に分かるように板書を工夫する。
1 2	5. 本時の学習から、りっちゃんの気持ちを想像してカードに書き、交流する。 ・みんなやさしいね ・好きな物を教えてくれたんだ ・元気になる材料を教えてくれてありがとう ・お母さんが元気になるように考えてくれてうれしいよ	○書くことへの見通しをもちやすくするために、どんな気持ちが想像できるか意見交換してから書く活動に入る。 ☆動物たちが教えてくれたことから、りっちゃんの気持ちを想像しながら読んでいる。 【読】(発言, りっちゃんカード)
5	6. ふり返りをする。	○「ふりかえり名人」を見ながら、ふりかえりの観点を確認する。

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される児童の具体例	おおむね満足できると判断される児童の具体例	支援を要すると判断される児童への指導の手立て
<p>・動物たちも、りっちゃんと同じようにお母さんを元気にしたいと願っていることに気づき、りっちゃんの気持ちを想像しながら読んでいる。</p>	<p>・動物たちがしてくれたことをとらえ、りっちゃんの気持ちを想像しながら読んでいる。</p>	<p>・動物たちがどうしてそれらの材料を教えてくれたのか板書を確認し、りっちゃんの気持ちを一緒に考える。</p>

10. 研究協議の視点

(②について)

登場人物の様子や行動に着目し、物語を幅広く読み取る課題を設定したことは、対話を活性化させ読みを深めるのに有効であったか。

<板書計画>

十月二十六日
サラダでげんき
かどのえいこ

アフリカゾウの顔と材料の絵

動物たちの顔と材料の絵

④ どうぶつたちにおしえてもらって、サラダをつくったりっちゃんのきもちをそうぞうしよう。

・すきなものをおしえてくれたんだ
・おかあさんがげんきになるように
かんがえてくれてうれしいよ

アフリカゾウは？
・あじつけ
・力づくく くりんくりんとまぜるためにやってきた

げんきになるサラダ
・自分のすきなものだから
・えいようがあつてげんきがでるから
シロクマは？
・ちかくのうみでとれたげんきになる
たべもの

りっちゃんの顔の絵

おいしいサラダ